



学校だより

4月号

平成31年4月16日
足立区立第四中学校
校長 高橋 淳

新入生208名を迎え、全校生徒599名で平成31年度がスタートしました。

正しい判断力をもち、豊かな心を養おう

校長 高橋 淳



新しいクラス、新しい担任の先生、今年一年を頑張ろうと新たな決意をもち、スタートすることができましたか。

中学校生活を送る上で、皆さんに身に付けてほしいものが二つあります。

まず「正しい判断力」です。様々なことを正しく判断する力は、知識と経験によって養われます。授業にしっかりと取り組み、学習内容を理解することで知識が蓄積されます。また、この知識を基に自分で調べたり、学習したり、友達と議論したりすると、知識はさらに深まるでしょう。それでは、経験を積むために必要なのはどのようなことでしょうか。それは、行事や委員会活動、係活動、部活動などに一生懸命取り組むことです。例えば掃除の時、みんなが率先して行動すれば、掃除は短時間で終わるはずです。行事や部活動でも、目的を考え、その目的を達成できるように行動し、それを繰り返すことで良い経験が蓄積されていきます。学校生活での知識と経験の積み重ねが、物事を正しく判断し、正しく行動することに繋がっていくのです。指導してくださる先生方の話をよく聞き、たくさんのことを学んでください。学習はもちろん、行事や委員会活動、係活動、部活動に積極的に取り組み、正しい判断力を身に付けてください。

もう一つは、豊かな心です。豊かな心を育てていくためには、他を思いやる必要があります。思いやりの気持ちをもち、互いの違いを認め、良さを学び合うことで協力する姿勢や友情が生まれ、豊かな心を養うための土台ができるでしょう。そして、自分勝手な考えや行動をなくし、仲間と喜びや悲しみを共にすることにより、豊かな心が育つのです。

話は少し変わりますが、みなさんは部屋に入る時、「戸を開けて」入り、入ったら「戸を閉める」のではないかと思います。実は、この二つの行動をつかさどる脳は違うのだそうです。

「開ける」という行為は、人としての本能からの行動であり、「閉める」という行為は、学習によって身に付く、学ばなければできるようにならない、誰にでもできるわけではないものなのです。靴を脱いだら揃える等といった行為もこれと同じだと言えるでしょう。中学校は学ぶ場です。そして、中学生のみなさんの仕事は学ぶことです。勉強は嫌だという感情があるかもしれませんが、その感情を上手にコントロールしながら取り組んでいきましょう。

学んだことができるようになることが成長です。中学校3年間で大きく成長してください。皆さんのこれからに期待しています。



4/9入学式



4/10対面式